

福祉生活病院常任委員会資料

(令和 8 年 1 月 2 1 日)

【 件 名 】

■ テルモ株式会社との連携協定の締結について

(健康政策課) . . . 2

■ 来年度のドクターヘリ運航業務の申し込み状況等について

(医療政策課) . . . 3

福 祉 保 健 部

テルモ株式会社との連携協定の締結について

令和8年1月21日
健康政策課

このたび、医療機器メーカーのテルモ株式会社と、県民に対する健康づくりへの普及啓発、生活習慣病対策に係る情報提供や人材育成など、県民の健康寿命延伸に係る事業を連携して行うことについて、協定を締結しましたので、その概要を報告します。

1 協定締結式の概要

- (1) 日 時 令和8年1月13日(火) 午前10時30分から10時45分まで
(2) 場 所 県庁3階 第4応接室
(3) 出席者 鳥取県知事 平井 伸治
テルモ株式会社国内営業本部
中四国ブロック長 佐野 寿和(さの としかず)



2 協定書の名称

県民の健康寿命の延伸に係る連携協力に関する協定書

3 協定書の内容

- (1) 目的 鳥取県及びテルモ株式会社相互の緊密な連携と協力により、健康づくりに関する取組を地域全体へ広めることで、県民の健康寿命の延伸に寄与すること。
(2) 連携協力事項

項目	内容
健康づくりや健康寿命延伸に係る普及啓発	・本県が独自に定めているフレイル予防月間(2月)における啓発イベントの企画・運営・ブース出展 ・「慢性腎臓病(CKD)県民向け健康講座」の運営協力、血圧測定ブースの設置、腹膜透析製品の展示 ・循環器病対策の普及啓発及び県民向け講演会の周知 (テルモ社と取引のある薬局のデジタルサイネージを利用した広報など)
健康づくりに取り組む団体への活動支援	・各種測定機器(血圧計・簡易血糖測定器等)の提供を受け「まちの保健室」事業で使用
医療専門職等に対する生活習慣病対策に係る情報提供や人材育成	・多職種の人材育成を目的とした研修会の企画(他県の取組例の情報提供、救急隊員等向け勉強会等)・実施に関する協力

4 連携事業

本協定に基づく連携事業第1弾として、来月2月に開催するフレイル予防啓発イベントにおいて、テルモ株式会社の出展(血圧測定等)を予定している。

- ・日時：令和8年2月11日(水・祝) 午後1時から
- ・場所：イオンモール鳥取北(鳥取市晩稲)

【参考】テルモ株式会社の概要

- ・1921年体温計の国産化を目的に創業。現在はグローバルに医療分野の事業を展開
- ・近年は自治体と健康増進分野における連携協定に注力
- ・社員数5,633名(テルモグループ30,689名 R7.3月末現在)

来年度のドクターヘリ運航業務の申し込み状況等について

令和8年1月21日
医 療 政 策 課

関西広域連合において、ドクターヘリの令和8年度の運航体制に向けた公募プロポーザルを実施していましたが、昨年12月20日開催の関西広域連合委員会において公表されましたので、報告します。

1 令和8年度に向けた公募プロポーザル結果について

(1) 公募プロポーザル結果について

関西広域連合管内ドクヘリのうち、本県を含む4機に係る公募結果が12月20日の関西広域連合委員会において報告されたが、応募は「京滋ドクヘリ」に対し、中日本航空株式会社（愛知県豊山町）1社のみであった。

ドクヘリ名称	R8年度運航会社
京滋ドクヘリ	中日本航空株式会社
大阪ドクヘリ	
鳥取県ドクヘリ	来年度運航委託先未定
徳島県ドクヘリ	

※3府県ドクヘリは、基地病院である公立豊岡病院において調整中。

(2) 今後の対応について

来年度においても引き続き本県ドクターヘリが運航できるよう、関西広域連合とも連携し、次のとおり取組を行っていく。

ア 関西広域連合の対応

関西広域連合において、ドクヘリ運航会社への訪問を継続するとともに、昨年12月に各構成府県、基地病院、国（厚生労働省、国土交通省）を集めた「対策チーム会議」を立ち上げ、各ドクヘリ事業者への訪問結果をもとにした今後の対応方針や、ドクヘリ運航上の規制の見直し等に係る協議を行っている。

イ 本県の対応

同業他社への働きかけを行うなど、関西広域連合と連携した取組を進めていく。

2 令和8年1月のドクヘリ運航休止について

本県を含む関西広域連合ドクヘリ（全8機）について、運航事業者であるヒラタ学園より、整備士確保が困難であり、引き続き1月のドクターヘリの運航を休止する旨の連絡があった。

(1) 運航休止期間

鳥取県ドクヘリ : 1月13日 ～ 17日（5日間）
3府県ドクヘリ : 1月18日 ～ 22日（5日間）

(2) 運航休止に伴う本県の対応状況

ドクヘリが運航休止となった場合でも、関西広域連合所有の他ドクヘリや中国5県協定による島根県ドクヘリ、岡山県ドクヘリ等による広域連携や本県防災ヘリ等による運用体制、医師搭乗型防災ヘリや夜間運行拡充を行っている鳥大病院のドクターカー等による救急体制を構築済みであり、鳥大病院、各消防と連携を取り、本県救急救命に支障が生じないよう対応していく。